

第31回 東日本小児科学会

「小児科領域における全人的医療のための今すぐ役立つ理論と実践」

時 : 2006年11月23日(木) 勤労感謝の日

場所: 東京女子医科大学弥生記念講堂

(敬称略)

講演

9時20分-11時20分 より良い医療への手がかりをもとめて

1. 水電解質代謝—上手なコントロール法
座長 大関武彦
五十嵐 隆(東京大学)
2. 日常診療にひそむ血液・腫瘍疾患
座長 中澤真平
別所 文雄(杏林大学)
3. 偶々発見された一般肝機能検査値の異常 —先生はどのように対処しますか?—
座長 有坂治
松井 陽(筑波大学)
4. 小児レントゲン写真の pitfall
座長 佐々木望
原 裕子(川口市立医療センター)

11時20分-11時50分 トピックス1

- 今年の冬の感染症を読む
座長 古川漸
加藤 達夫(国立成育医療センター)

12時-13時 ランチョンセミナー

- 気管支喘息の治療ガイドライン2005
座長 河野陽一
一年間の使用経験から 森川 昭廣(群馬大学)
テオフィリン痙攣について 小国 弘量(東京女子医科大学)

13時30分-14時 トピックス2

- ここまで変わった!最新の小児外科治療
座長 山城雄一郎
世川 修(東京女子医科大学外科)

14時-14時30分 トピックス3

- 小児救急における Myths and Controversies
座長 服部元史
上村克徳(国立成育医療センター)

14時30分-15時 より温かい診療のために

- やる気を引き出すコーチング—「やらなければならない」を「できた」にかえる
座長 衛藤義勝
諏訪 茂樹(東京女子医科大学看護学部)

15時15分-17時 子供の心と身体を救うために

1. 虐待を疑った時どう動くか
座長 星加明徳
小児科医の立場から 坂内 優子(東京女子医科大学)
児相の立場から 伊東ゆたか(東京都児童相談センター)
2. 小児糖尿病ケア最近の進歩—慢性疾患と歩む子供達のために
座長 杉原茂孝
内潟 安子(東京女子医大糖尿病センター)
3. 小児科医のできる不登校の予防—「学校への不安」の理解とその癒し方
座長 桃井真里子
猪子 香代(東京都精神医学総合研究所)

展示

国境なき医師団に参加して—子どもたちのために我々のできること

座長 仁志田博司

加藤 寛之(国境なき医師団)

*13時-13時30分にディスカッションの時間を設定しています。

小児救急医療実習:トレーニングマネキンを使って

待合室で急変した子ども—貴方は何ができますか

東京女子医科大学小児科

*小児トレーニングマネキンとAEDを使った、一次救命処置についての1時間ほどの実習です。

*日本小児集中治療研究会(JSPICC)によるBasic Life Support(BLS)、Pediatric Advanced Life Support(PALS)の資格認定はありません。

*事前申し込みが必要です。詳しくは下記まで御連絡下さい。

会長:大澤 真木子
事務局長:池谷 紀代子
162-8666 東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学小児科
TEL 03-3353-8111 内線 31230
FAX 03-5269-7338
gakkai@ped.twmu.ac.jp